

「第 21 回 港南区の歴史散歩」

1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成 15 年 9 月 1 日 9:00~12:00

(2) コース : 日野中央公園・春日神社・徳恩寺~南稜高校(旧日野高校)

日野中央公園 (日野中央 2-2) 宮脇横穴古墳 (日野 2-7-8)
山王社碑 (日野中央 2-7) 春日神社 (日野中央 2-9) 徳恩寺
(日野中央 2-10) 南稜高校 (日野中央 2-6) 日野養護学校



注 1: 囲み数字 (例 =) はスナップ写真に記載されている番号を示す。

2. 当日のスナップ

- この地域は古代の住居遺跡が比較的少ないところです。一方他所に比して横穴古墳が多く、5ヶ所認められております。その一つは春日神社裏山にあり、昭和51年に発見されましたが、7世紀頃のものとして推定されています。他は金井から清水橋にかけての地域にありましたが、今はその殆んどが消失し見ることは出来ません。
- 春日神社の由緒によれば、同神社は11世紀末(平安末期)に武蔵国の国司 藤原成実が建立したとあります。武蔵国の端に位置するこの地に国司(現在の県知事相当)が建立する背景について興味が湧いてきます。
- 昭和50年代までの日野町は、現港南区の中央部のバス停「永作」辺りから南部の栄区境界まで港南区の中で大きな面積を占めていました。
江戸時代は吉原村・宮下村・金井村・宮ヶ谷村の4力村ありましたが、明治・大正・昭和、戦後そして、近年の住宅地開発と時代の移り変わりにより、統合・分離など種々の変遷があり、現在は日野・日野中央・日野南・港南台四つの街区に分かれました。

(1) 日野中央公園 (日野中央 2-2)

自由広場前の池、正面は
春日神社の社叢林



自由広場前で説明
左が社叢林



公園入口左の丘は日野墓地



(2) 宮脇横穴古墳跡と山王社碑

ア.宮脇横穴古墳跡
現在は何も無い



イ.山王社碑
マンションの前に有る



(3) 日野川

春日神社の前を流れる宮下川
下って日野川となる



(4) 春日神社
ア.石段



(日野中央 2-9)
イ.社殿
左の長い石段をの登った処に



ウ.境内の石仏群
石段右脇に A~d 参照



(5) 春日神社
エ.社殿左側回廊



(日野中央 2-9)
オ.建物の彫刻(上)



カ.社殿正面の彫刻



(6) 徳恩寺 (日野中央 2-10)
ア.長屋門
後ろが本堂の屋根



イ.本堂と鐘



(7) 南稜高校
旧日野高校と野庭高校
が合併南稜高校となる



以上